

モクゲンジ

Koelreuteria paniculata Laxm.

ムクロジ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内における生育地が限られ、個体数も少ない。(現況:R-)

形態

落葉中高木で、樹高2~10m。葉は大型の奇数羽状または時に2回羽状複葉となり、センダンの葉に似ている。大きな円錐花序に、黄色い両性花をつけ、花弁は4個。果実はふつくとオオズキ状にふくらみ、熟すと黄褐色になって3裂する。種子は黒色球形で堅く、数珠にすることがあると言う。

国内分布

本州(日本海側)に分布しているが、本来の野生が明らかでない。

県内分布

外浦区、内浦区、南加賀区。

生態など

花期は7~8月。さく果は10月頃に熟す。よく寺院の境内に植えられる。

生育環境

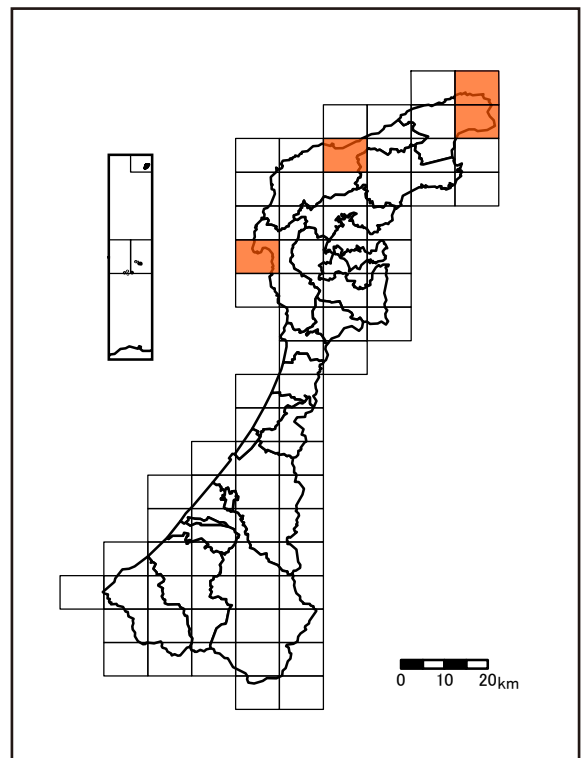
海岸近くの崖地や砂地。

危険要因

海岸開発、土地造成、自然遷移、産地局限。



本多郁夫・2008年7月16日・志賀町



県内の分布